

複数の情報を関連付けて考えをまとめる指導に対応

複数の情報を分類・整理し、目的に合った情報を精査する

＜学習の効果＞ ～育成される資質・能力～

- 多様な方法を用いて、さまざまな情報を収集する力が育成される。
- 収集した情報を、目的に応じて分類・整理する力が育成される。

学習指導要領との関連

国語 第2学年

〔知識及び技能〕

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

エ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を持つ語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。

(2) 情報の扱い方に関する事項

イ 情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。

〔思考力・判断力・表現力等〕 B書くこと

(1) ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。

＜学習方法＞

令和を生きるわたしが紡ぐ今昔物語

～ ○○○の移ろい(変わりゆく○○○)～ (7時間扱い)

※ ○○○は各自で設定するテーマ

1 テーマを決める。

(2時間)

- ① 単元の目標と学習活動について理解し、学習の見通しをもつ。
- ② 現在と過去で比較して考えてみたいことを挙げ、新聞やインターネット、本、雑誌、パンフレットなど多様な方法で情報を収集し、テーマを決める。
- ③ 各自のテーマを共有し、共通性を見出していくつかのチームを編成する。
〔テーマ例〕 まちの景観の変化、地域の魅力再発見、受け継がれる秘伝の味、災害への備え、スポーツの歴史、職業観、日本人の季節感 など

ここがポイント!

生徒の課題意識を明らかにし、多様な方法で情報を収集する

* 総合的な学習の時間や他の教科の学習内容と関連させた教科横断的な学習を仕組みば、テーマの設定に、それぞれの生徒の課題意識を反映させることがより可能になります。

* 複数の情報源から情報を集め、比較することで、情報の分類・整理や、取捨選択の必要性が生まれます。

2 設定したテーマについて、必要な情報を収集する。(2時間)

- ① テーマに関わる内容について、同じ新聞社の記事を比較する。(発行年の違いによる比較を行う) 必要な情報を探し、記事をスクラップする。
- ② 過去と現代の比較や時代の変遷の視点から気づいたことや考えたことを書き出す。
- ③ 更に知りたいことについて、新聞だけではなく複数の情報源から情報を収集する。

【例】テーマ：変わりゆく私たちの言葉 ⇨ 「国語に関する世論調査」の記事を比較



2007年9月8日 山形新聞 (共同通信配信)



2015年9月18日 山形新聞 (共同通信配信)



2013年9月25日 山形新聞 (共同通信配信)

ここがポイント!

時代の違いの視点から必要な情報を収集する

*伝えたいことを分かりやすく伝えるために、文字情報だけではなく、図、表、グラフ、写真などの情報も積極的に収集します。

*時代背景や世相による違いを明確にするために、**複数の年代(3つ以上)**の記事を比較します。



2020年9月26日 山形新聞 (共同通信配信)

3 収集した情報を分類・整理して今昔物語を書き、互いに読み合う。(3時間)

- ① 収集した情報を整理し、伝えたいことの内容を決めて、文章の構成を考える。
- ② 今昔物語を書き、チームごとにお互いの文章を読み合い、感想を交流する。
- ③ 内容を検討し、さらに必要な情報があれば、追加で調べる。
- ④ 修正を加えて今昔物語を完成させ、印刷・製本した「今昔物語集」を読み合う。

こんな方法もあります

- ・情報を収集する際に、必要に応じて、直接取材を行うことも有効です。
- ・教科書に掲載されている説明的な文章の発展学習として、関連するテーマや内容について情報を収集し、考えをまとめることも考えられます。(発行年の異なる複数の新聞から情報を収集し、比較する。)